

レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第72回ICANN報告会:2025年04月18日
株式会社インターリンク
JACOB WILLIAMS



82 | COMMUNITY FORUM

SEATTLE

<https://meetings.icann.org/en/meetings/icann82/herobanner.png>



ICANN82: Community Forum: レジストリ・レジストラ関連報告



GNSO: RrSG Membership Meeting – (レジストラ部会)

2025年3月11日(火) 13:15 - 17:30 PDT (3つのセッション)



GNSO: RySG Membership Meeting – (レジストリ部会)

2025年3月11日(火) 13:15 - 17:30 PDT (3つのセッション)

レジストリ・レジストラ部会話題



レジストラ部会の主要な話題

2025年3月11日(火)13:15 - 17:30 PDT (3つのセッション)

- 新登録データポリシーの導入
- 登録データリクエストシステム (RDRS)の評価
- トランスファーポリシーフェーズ(1A)
- 登録データの正確性及びNIS2指令
- その他の部会内ビジネス (RrSG内のメンバーシップ制度の見直し提案)



レジストリ部会の主要な話題

2025年3月11日(火)13:15 - 17:30 PDT (3つのセッション)

- RDAPコンプライアンスの課題
- Base RAの更新(Spec 14とSpec 13の改定)
- SubProの申請ライフサイクルに関する懸念
- DNS Abuse
- その他/ポリシーアップデート

レジストラ部会 (RRSG)

レジストラ部会 (RRSG)

...



登録者データポリシーの導入

- 導入期間:18ヶ月
 - 現在、レジストラとレジストリは新しい登録データ要件の導入期間に入っています。
 - 登録データポリシーの実装に関して、最低限のデータセットに「Billing Contact」の情報の提供が必要か否か」について混乱がありましたが、最終的に「不要」と明確化された。

レジストラ部会 (RRSG)

...



登録データリクエストシステム (RDRS)の評価

- ユーザビリティに関して意見交換があり、有用性が低いと指摘され、義務化には反対の声が多くでした。
 - データリクエスト側 (Requestor) の理解不足が、誤用や混乱を招いています。
 - パイロット終了後の方向性として、SSADとの比較や次ステップの検討が求められています。
 - 一部では「完全終了も検討すべき」との声もあったが、今後の検証が必要と考えられています。

レジストラ部会 (RRSG)

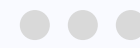
...



トランスファーポリシー フェーズ1A

- ICANN理事会がレビューする予定で、承認されれば、2025年Q3を目指して新ポリシーの実装が予定されています。
- 新ポリシーでは、TACの発行・管理に関してレジストラに新たな義務が追加されます。
- セキュリティ向上を目的に、TACの有効期限の管理が求められます。
- レジストラからは、実装に向けたサポートやサンプル実装の共有を求める声が出ています。

レジストラ部会 (RRSG)



登録者データの正確性

登録者データの正確性

- RrSGメンバーは、WHOIS廃止後のデータ正確性に関するICANNの提案に対して懸念を表明。
- 特に、「全レジストラに対する正確性チェックの範囲と頻度」に関する議論が継続。
- コスト・運用負担の増加や、各国の法規制との整合性も課題とされています。

この件に関して、次回小グループミーティングの開催も予定されています

レジストラ部会 (RRSG)



その他の部会内ビジネス:メンバーシップの見直しと提案

- メンバーシップ制度の見直し提案
 - レジストラ間での連携を強化し、新規メンバーを歓迎するため、新たなオブザーバープログラムが検討されています。
 - オブザーバーは最大6か月間、メンバー資格を持たない状態での参加が可能で、メーリングリストや一部の小グループ(ワーキンググループ等)へのアクセスが認められます。
 - 一方で、クローズドセッションやCPHセッションには参加不可とされる予定です。
- Tier制メンバー料金案
 - 小規模レジストラや新興市場の企業に配慮した、段階的な会費制度(Tier制)**の導入も検討されています。
 - 負担軽減と多様な参加の促進を目的としています。

レジストリ部会 (RYSG)

レジストリ部会 (RYSG)

...



主要の話題

- RDAPコンプライアンスの課題
WHOISは2025年1月28日に廃止可能になりました。gTLDの90%以上がRDAP
アウトプットがRFCに準拠していない項目があると報告されました。
- Base RAの更新 (Spec 14 & Spec 13)
 - バリエーションTLD用Spec 14導入。Spec 13では契約解除・EBRO条項を見直し
が予定されています。
- 新gTLD SubPro関連
 - SubProの申請ライフサイクル懸念 : 申請からルートゾーン委任までの期
間が長すぎると指摘されました。

レジストリ部会 (RYSG)

...



ポリシーアップデート

- DNS Abuse 関連
 - 分類の見直しを求める意見が出ています。
 - gTLD契約の改訂後、DNS Abuseへの対応率が約90%に向上したとNetBeaconより報告されました。
 - レジストラ主導の対応を重視するクリーンDNSモデルのアプローチに賛同する声も多く聞かれました。

クリーンDNSモデルにより、レジストラ主導の対応フロー(アビューズ通報→確認→対応→フィードバック)が強調されており、効率的な対策や透明性の向上が期待されています。

アビューズ通報 → 確認 → 対応 → フィードバック

レジストリ部会 (RYSG)

...



その他・ポリシーアップデート

- TMDBインフラの懸念
 - 商標データベースの安定性改善を求める声が、レジストラ・レジストリ双方から挙がっています。
- PPSAI、UDRP、Transfer Policyの進捗状況
 - PPSAIは再開されましたが、実装には課題があります。
 - UDRPレビューは遅延中で、開始時期は未定です。
 - Transfer PolicyのPDPに関して、2025年2月4日に最終報告書(163ページ)が公開されました。この報告書には、ドメイン名のレジストラ間トランスファーに関するさまざまな項目を対象とした47のコンセンサス勧告が含まれています。

THANK YOU



お問い合わせ

gTLD@interlink.ad.jp